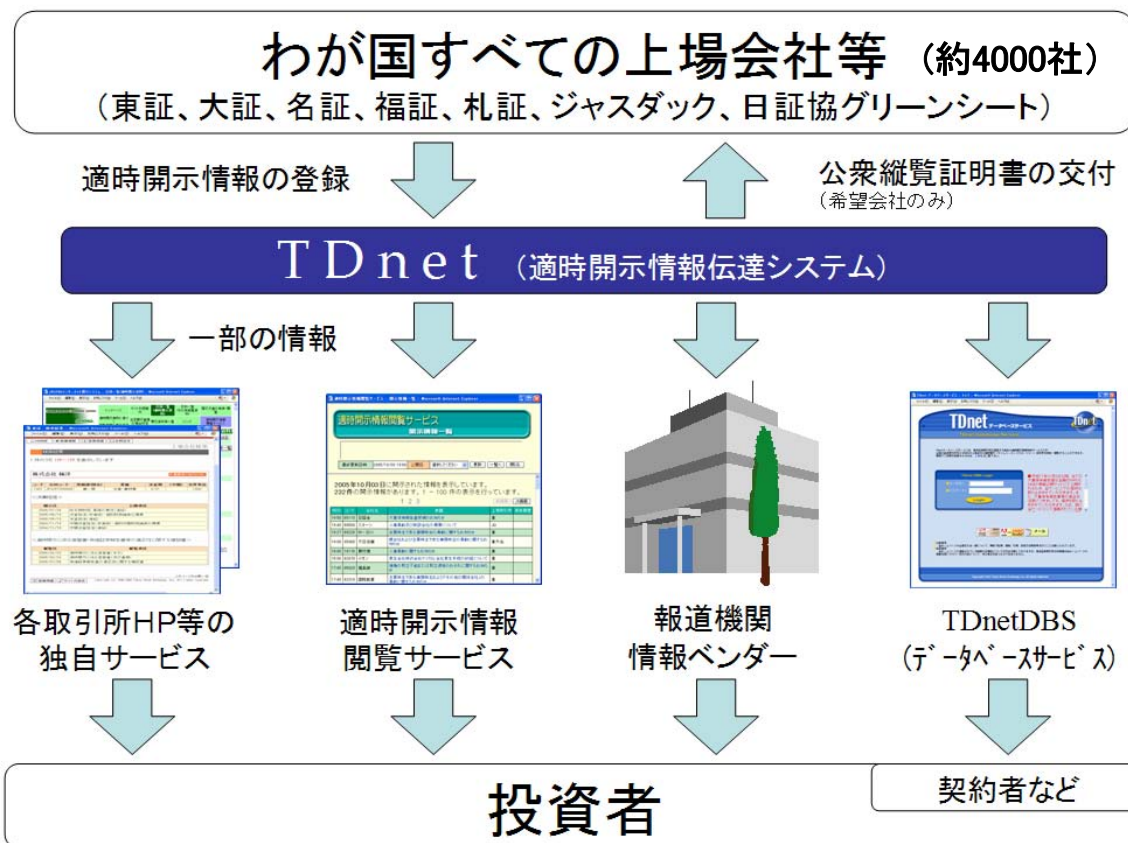


東京証券取引所におけるXBRLの活用



TDnet (Timely Disclosure Network) の概要



適時開示における電子化への取り組み

- 1998年(平成10年)
 - 第1次TDnet稼働(紙による開示から電子開示へ)

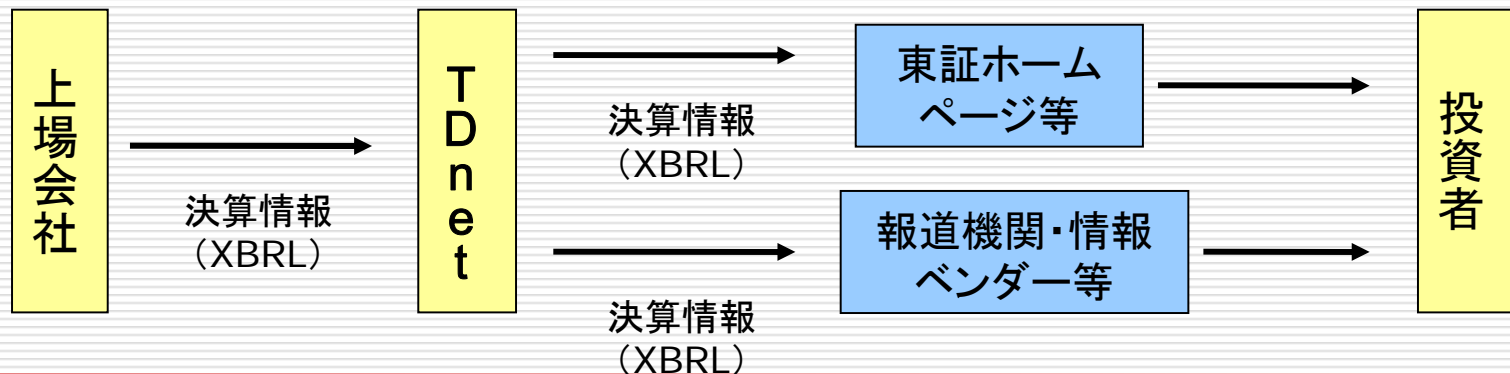
- 2003年(平成15年)
 - 第2次TDnet稼働(XBRLの採用、数値データの提供、セキュリティの大幅強化)

- 2005年(平成17年)
 - 四半期開示情報の数値データ提供開始、XBRLデータ蓄積開始

- 2006年(平成18年)
 - 決算短信等へのXBRLの本格導入に関する基本方針発表
 - XBRL啓発サイトの開設

TDnetにおけるXBRLデータの本格導入(2008年7月)

- 決算情報の提出にのみ限定していたXBRLデータをTDnet利用者に提供
- 決算短信(サマリー情報、財務諸表)、業績予想の修正、配当予想の修正、CG報告書について、XBRL形式でのデータ提供開始
- 財務諸表については、EDINETに提出する法定開示書類の財務諸表(XBRLデータ)を基に作成されたデータ(XBRL形式)を活用
- 対象書類について、XBRLデータの提出を原則義務化(財務諸表を除く)



XBRL (eXtensible Business Reporting Language)とは

- 各種財務報告用の情報を作成・流通・利用できるようにXBRL Internationalによって国際的に標準化された電子開示に適したコンピュータ言語
- 従来の電子開示用言語(PDF、HTML)と比較して財務情報の分析・加工を容易にし、その分析結果が投資判断に迅速に反映されるようにすることが可能
- 決算短信のような複雑な構造をもった多量のデータからなる報告書を表現可能
 - 財務報告書などを表現するために開発された仕様
- 多言語対応
 - 日本語財務諸表の勘定科目や開示項目の表示を英語等外国語に切り替えることが可能
- 世界各国において財務情報の電子開示・電子申請の技術として採用
- JIS-TR(Technical Report)化された技術仕様
- 開示の適時性、正確性、透明性、効率性が向上

XBRLの仕組み (HTML・PDFとの比較)

□ HTML・PDF

- インターネットにおいて一般的に使われているファイル様式
- 印刷した際のイメージを画面上に表示することが可能 (画面表示、印刷に優れている)
- 記載された財務情報の意味をシステムが理解することができない (二次利用が難しい)

□ XBRL

- 電子商取引などでデータのやり取りに使われているXMLというコンピュータ言語をベースに財務報告などに利用するために開発された言語
- 各データにレイアウト情報を持たせることで、印刷した際のイメージを画面表示・印刷することが可能
- 各データに意味や属性を持たせるため、記載された財務情報の意味をシステムが理解することが可能 (二次利用が容易)
- データ間の数値チェック、通貨変換、言語変換等が可能

XBRL を採用するメリット ①

(投資者・アナリスト・証券会社)

- TDnet等のシステムからダウンロードしたXBRLデータを直接システムに取り込むことにより、再入力することなく容易にデータの加工・分析ができる
 - 過年度比較、他社比較が容易
 - 再入力・転記・加工などの際の時間の節約、入力・転記ミスの防止
 - 大量の財務情報の処理が可能
 - データ形式が標準化されることにより、分析システム開発コストが削減

- インターネット上で閲覧、検索がしやすくなり、使い勝手が向上

- 英語等の外国語表示が可能となり、どこの国の言語でも関係なく同じように処理できる

XBRL を採用するメリット ②（提出会社）

- 財務処理関連作業の短縮
 - コンピュータ用ひな形の活用による、会計系システム等からの資料の自動作成
 - 英文書類等の外国語資料作成作業の効率化
 - 他社事例の検索が容易

- 論理チェック機能などを利用した作成ミスの防止

- 投資者に対する詳細なデータ提供が可能

- 同業他社の分析、自社との比較が容易になり、経営に役立つ

- 連結財務諸表作成の際に、子会社の財務データの取り込みが容易

XBRL の各国における採用状況

□ 証券市場

- 米国EDGARシステム(SEC):XBRLでの財務データの提出義務化(2009年より順次)
- 上海証券取引所(2007~)、タイ証券取引所(2008~):XBRL形式での財務情報の提供開始
- 韓国証券取引所、KOSDAQ、トロント証券取引所
:XBRL化された財務情報を活用したインターネット上での投資情報提供サービス(パイロットテスト)を実施(2003年~2004年)

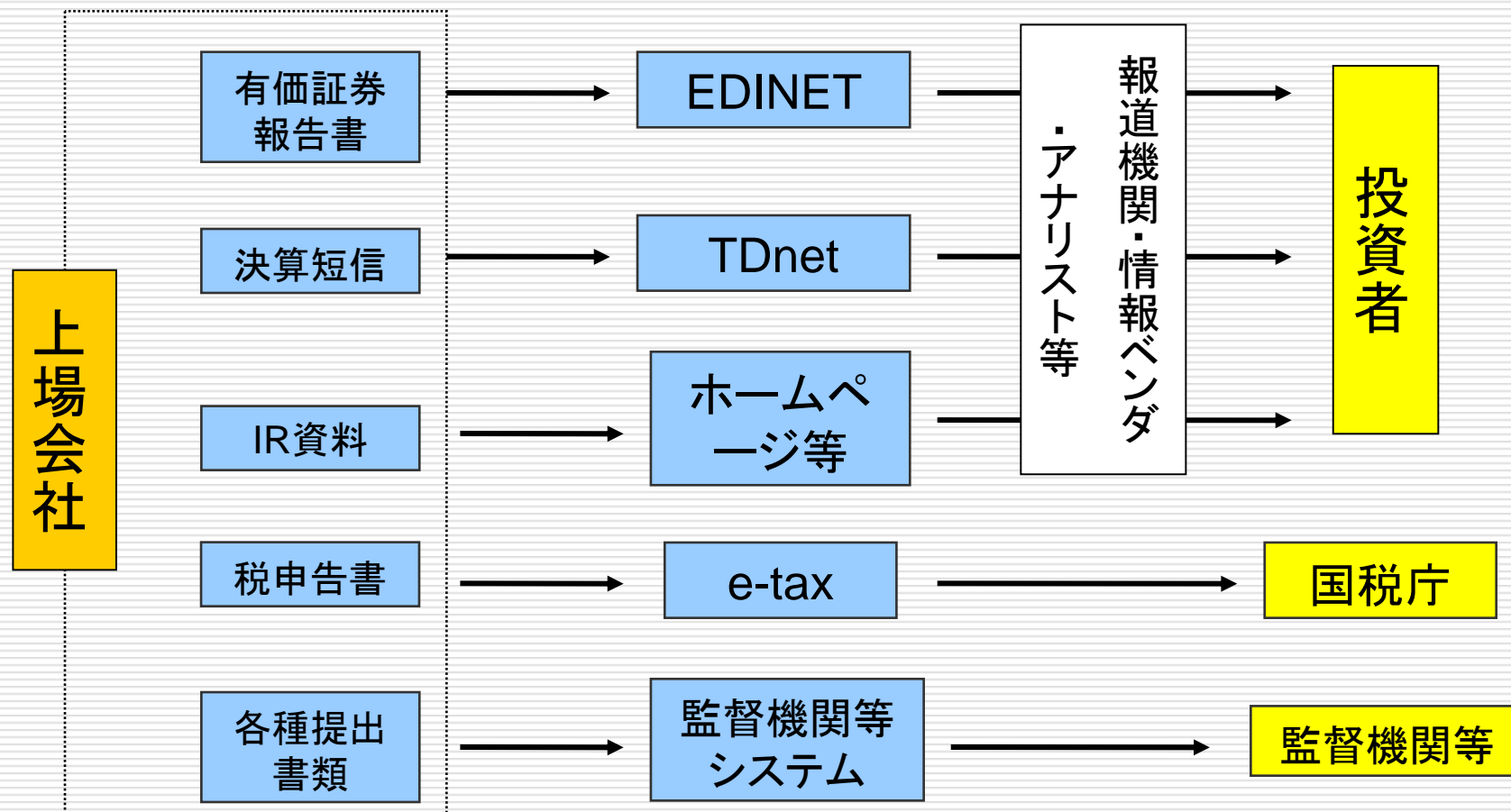
□ 金融監督当局等

- APRA(豪):銀行からの受入様式にXBRLを採用(2001年稼働)
- FFIEC(FDICなど):銀行等から受け入れるコールレポートのXBRL化(2005年)
- 英国内国税歳入庁:XBRLでの電子申告(2003年)
- バンク・オブ・スペイン他中央銀行等多数:貸借対照表を中心とした財務諸表等のデータをXBRL化→BASEL II のレポーティングとして収集開始
- 韓国:金融監督院(FSS)が証券監督にXBRLを適用(2007年)

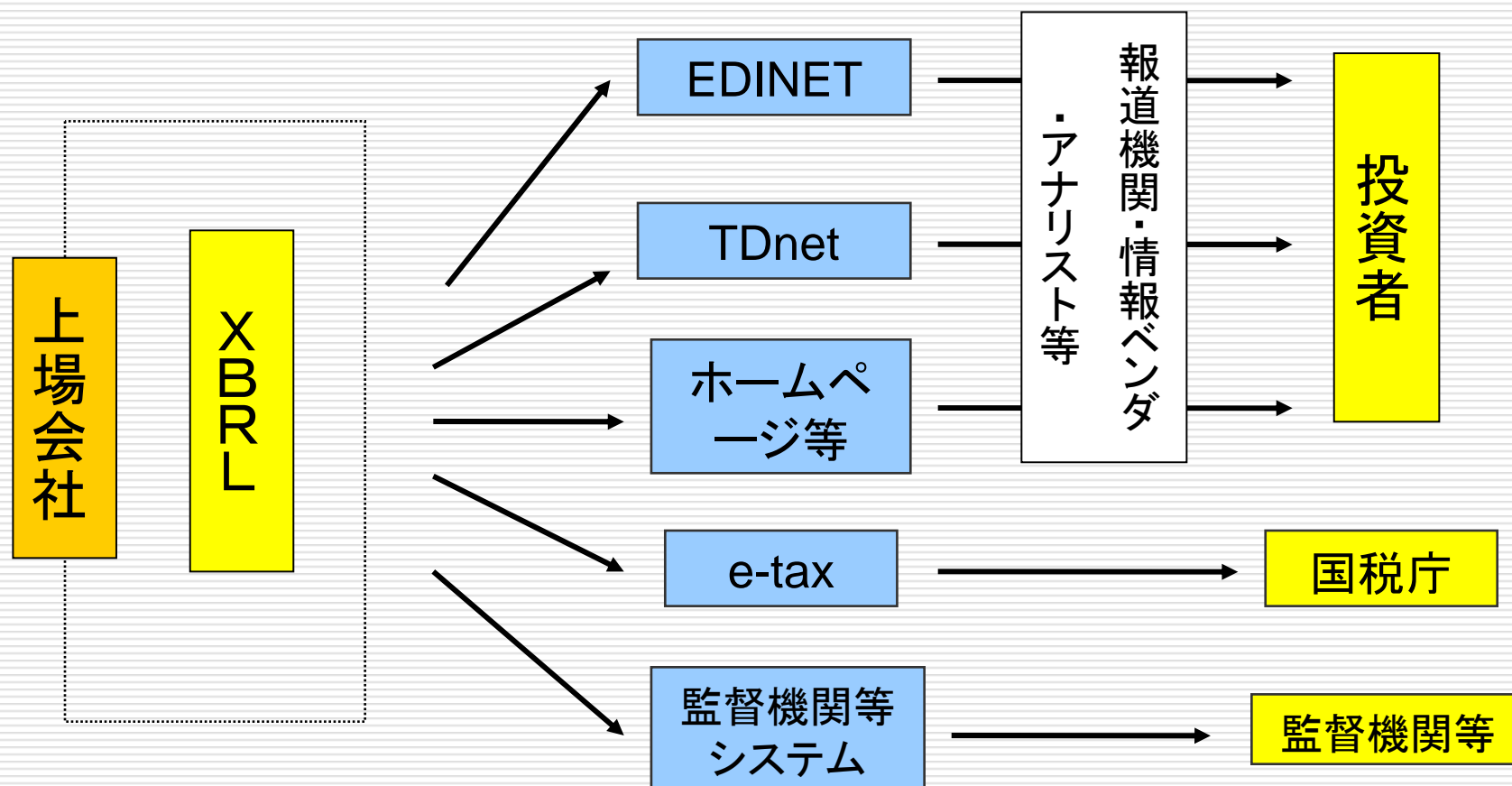
XBRL の国内における採用状況

- 東証(決算短信1枚目):2003年7月
- 国税電子申告(決算書部分のみ):2004年2月
- 日本銀行(日計表、決算状況表等):2006年3月
- 三菱東京UFJ銀行等(決算書部分のみ):2006年10月
 - 国税電子申告に提出されたXBRLデータを二次活用
- EDINET(有価証券報告書等):2008年7月を目途
 - システムのリプレイス(2008年4月)に伴い、財務諸表部分よりXBRL化開始(予定)

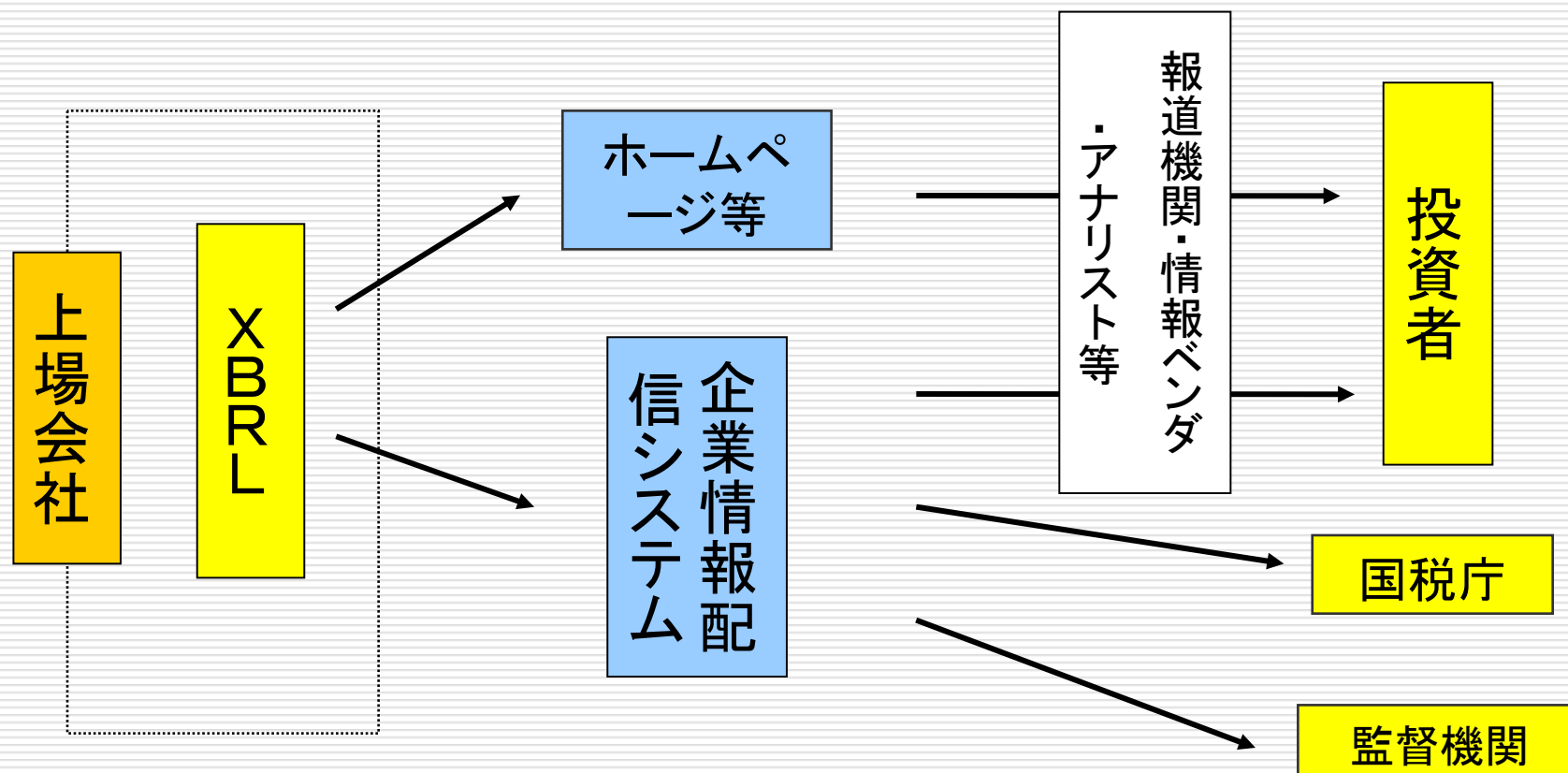
情報のXBRL化に伴う作業の変化(XBRL化前)



情報のXBRL化に伴う作業の変化 (XBRL化後: 提出情報の一元化)



情報のXBRL化に伴う作業の変化 (XBRL化後: 提出作業のワンストップ化)



【参考】

XBRLに関連するホームページ

- 金融庁 : <http://www.fsa.go.jp/> (<http://www.fsa.go.jp/search/index.html>)
- XBRL Japan : <http://www.xbrl-jp.org/>
- 日本公認会計士協会 : <http://www.jicpa.or.jp/> (<http://www.jicpa.or.jp/xbrl/>)
- 日本銀行 : <http://www.boj.or.jp/>
(http://www.boj.or.jp/type/release/zuiji_new/fsk0602a.htm)
- 国税庁 : <http://www.e-tax.nta.go.jp/>
- 三菱東京UFJ銀行 : <https://e-tax.bk.mufg.jp/>